

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	01-01-10-08
事務事業名	個別排水処理施設管理運営事業		根拠法令・要綱等 浄化槽法
事業開始年度	平成12年～		
総合計画	大項目 基本目標	安全で快適に暮らせるまちづくり	問合せ先 担当課(室) 下水道課施設係
	中項目 基本施策	生活しやすいまちづくり	職・氏名 施設係長 福田昌晃
	小項目 施策	下水道	電話 0869-63-2330

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	吉永町地内の特定環境保全公共下水道及び農業集落排水施設供用開始区域外で生活する市民及び不特定多数
目的 (何のために)	文化的で快適な生活環境の提供をはかり、併せて公共用水域の水質保全に資する。
行政活動 (どのような方法で)	委託による浄化槽の維持管理及び清掃、故障等の修繕の実施。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	個別合併処理浄化槽の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保つとともに、未接続の解消を推進する。

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事業の実績				
実施項目	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
設置人口	m3	250	245	252
接続人口	%	227	229	235
設置戸数	戸	166	166	166
接続戸数	戸	133	139	139
放流河川下流のBOD値	mg/l	-	1	1
活動実績				
事業費	直接事業費	16,333	17,393	19,845
	人件費	1,275	830	500
	事業費計	17,608	18,223	20,345
財源	国県支出金	11904	0	0
	受益者負担		60	0
	市債			0
	一般財源	5,704	18,163	20,345
必要人員	人	0.20	0.15	0.05
結果指標				
結果指標名	単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
処理水量	説明	3月31日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票の人数		
結果指標量	人	227	229	235
対前年比	%	-	100.9%	102.6%
活動コスト	円	17,608,000	18,223,065	20,345,400
単位当たりコスト	円	77,568	79,577	86,576
接続人口	説明	3月31日現在の住民基本台帳及び外国人登録原票の戸数		
結果指標量	人	133	139	139
対前年比	%	-	104.5%	100.0%
活動コスト	円	17,608,000	18,223,065	20,345,400
単位当たりコスト	円	132,391	125,130	146,370

事業の成果			
成果指標名	水洗化率 (%)	式又は説明	浄化槽接続人口 / 対象区域内人口
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	90.80	93.50	93.30
対前年比		102.97%	99.79%
到達目標値	100	到達目標年度	平成27年度

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>	C
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている		
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある		
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	浄化槽法等の規定に基づき、公共用水域の水質保全及び生活環境の保全を図るため、個別合併処理浄化槽の管理を行う。	
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
	<input type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい	効率性評価 <A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である		
コスト	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい		
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難	浄化槽の老朽化の進行により、修繕費が発生し、コストが増加してきている。	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある		
手段	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている		
職場	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
目的達成度	<input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている	有効性評価 <A~E>	C
	<input type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである	浄化槽の機能が十分に発揮され、環境が良好に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している		
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
	<input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	接続人口及び戸数は、現状で推移する見込みであるが、浄化槽の老朽化等による修繕費の増加が予測される。	
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している			
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	平成19年度で廃止・完了		
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 事業を縮小している			
目標値	結果指標量	250人	結果指標量	145戸
目標値	成果指標量	95%		

総合評価		評価区分 <A~E>	C
浄化槽は適正な機能を満たしている。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果